

令和5年度 未来へつながる学びを支援する訪問

埼玉県教育局東部教育事務所

1 事業概要

(1) 目的

各市町教育委員会の要請に基づき、東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当指導主事を派遣し、学力向上を推進するための授業改善等に資する。

(2) 派遣者

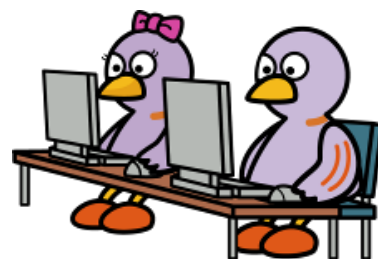
東部教育事務所 教育支援担当・学力向上推進担当 指導主事等

(3) 日程

令和5年8月～令和6年2月

(4) 内容

各市町教育委員会の要請に応じて、学力向上推進に向けた授業改善への指導助言（講義、指導案検討会、授業研究会）



2 令和5年度の実績（統計）

(1) 訪問数

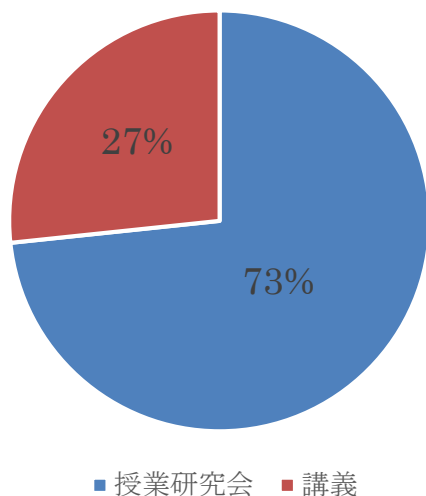
中学校及び義務教育学校後期課程：各市町への訪問回数を2回（原則）

小学校及び義務教育学校前期課程：各市町への訪問回数を1回（原則）

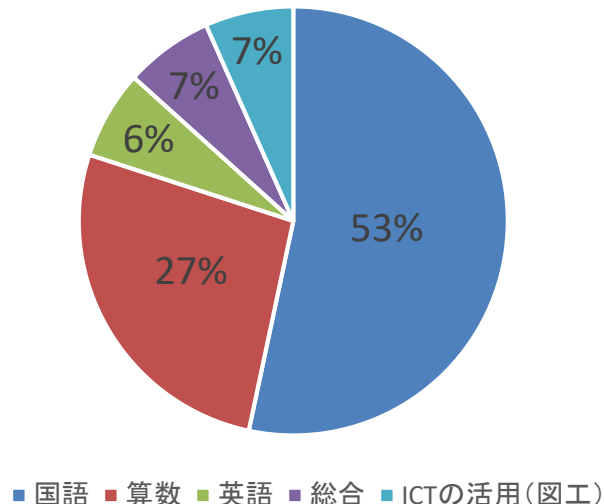
(2) 研修内容

①小学校及び義務教育学校前期課程

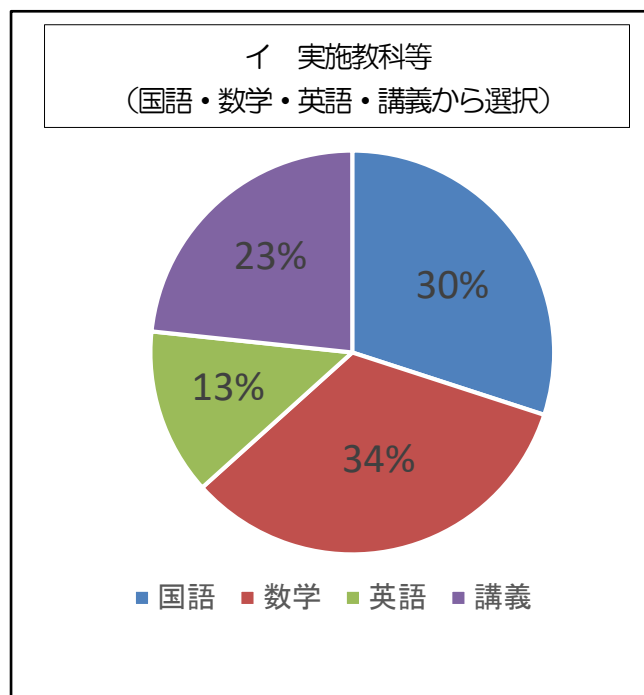
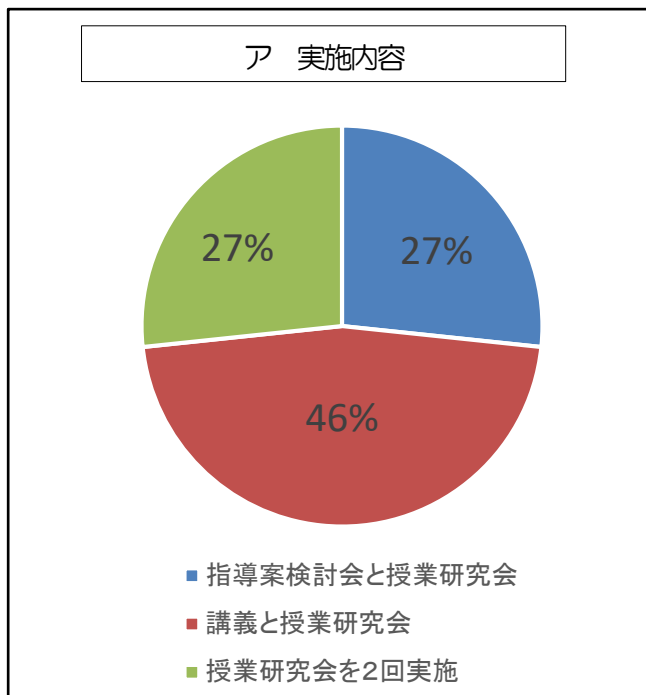
ア 実施内容



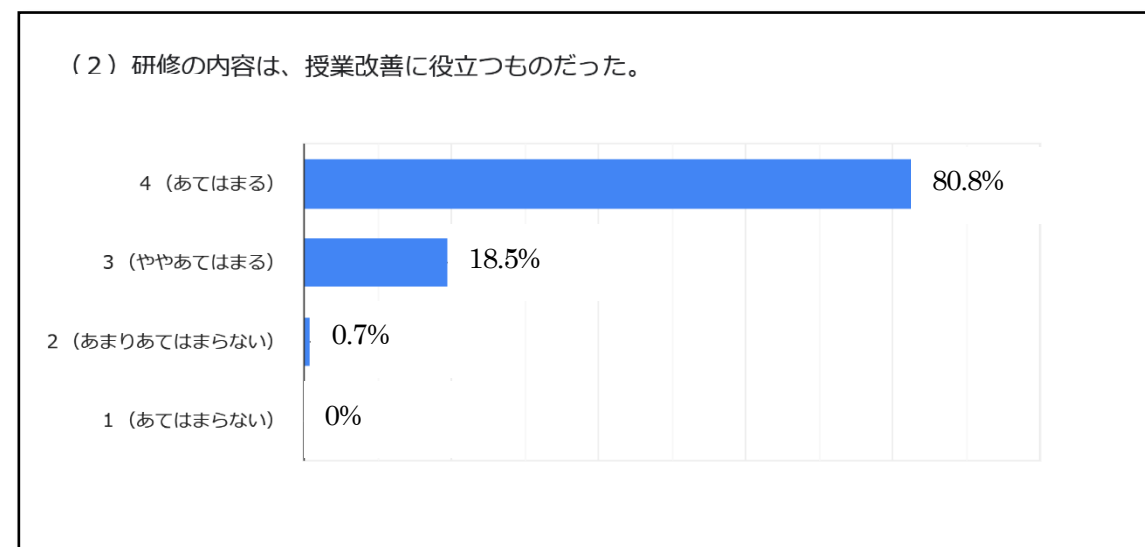
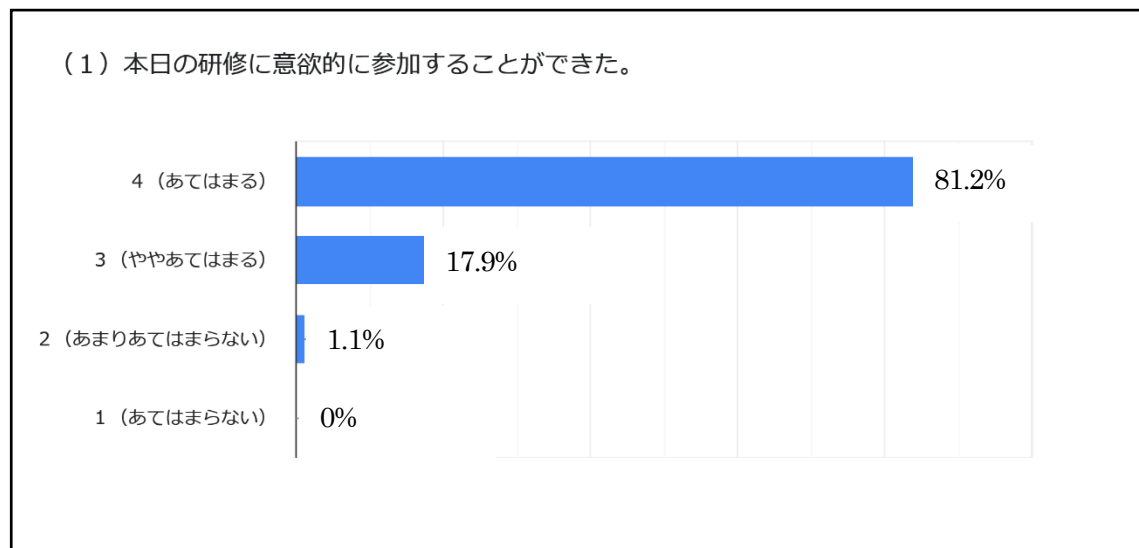
イ 実施教科等（全教科選択可）



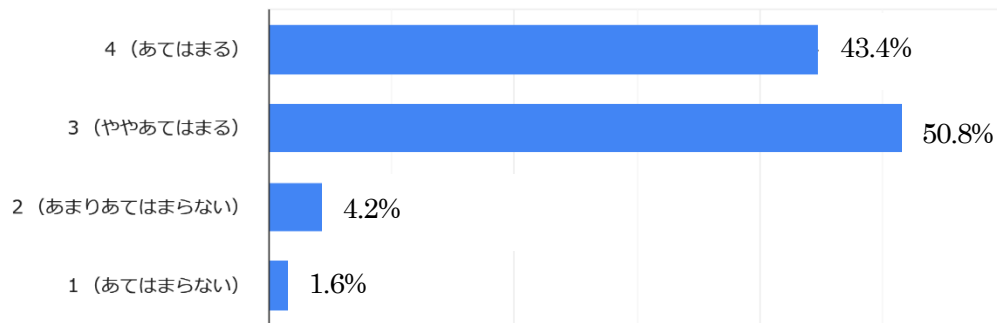
②中学校及び義務教育学校後期課程



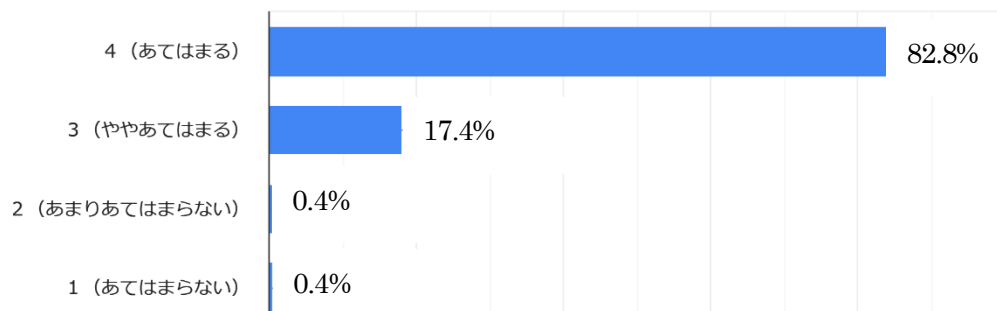
(3) アンケート結果



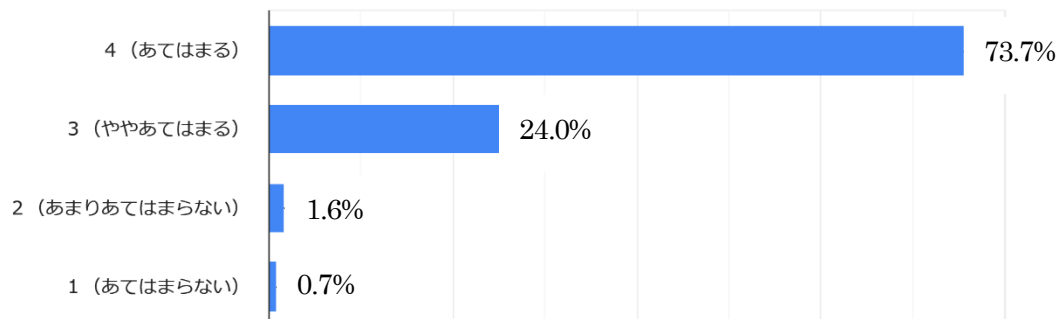
(3) 研修に参加して疑問や不安を解消できた。



(4) 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う。



(5) 本日の研修に満足している。



(4) 参会者からの感想

【指導案検討会】

○私の作成した指導案について検討していただきました。私の思いやねらいを軸にいただながら多くの先生方、指導者の先生方とともに1つの授業を作っているという実感がありました。校内だけでは学べないことをたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。

【授業研究会】

○今後必要とされる授業改善の視点として大切なことをたくさん学ばせていただきました。だからこそもっと多くの学校の先生方（他校種を含む）と意見を交換できるとよいと思います。特に各校の授業改善の中心となる先生（研究主任や研修主任など）や直接授業に携わる先生方にこそ有益な研修会であると感じました。

【講義】

○「主体的・対話的で深い学び」がなぜ必要なのか、そして「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりとはどのようなものかを具体的に知ることができました。明日からの授業作りに生かしていきます。

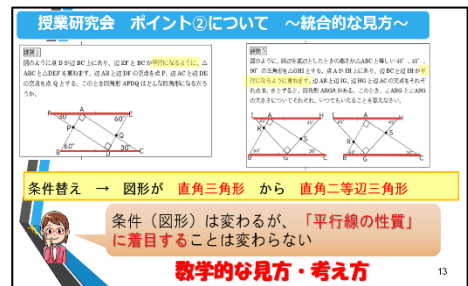
3 事例紹介

(1) 授業研究会

A 中学校 「数学」に関する研究授業、研究協議

研修内容

- 1 研究授業
中学校第2学年 単元名 図形の性質と証明
- 2 研究協議
ワークショップ型研究協議、指導助言



(2) 講義

B 小学校 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

講義(演習)内容

- 1 講義
 - ・学習指導要領改訂の経緯
 - ・育成する資質・能力
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業
- 2 グループによる協議、演習
- 3 全体共有・まとめ

